

## ■雪中行軍に学ぶ

今から111年前の1902年、日本陸軍は、対ロシア戦を想定し、冬季訓練は緊急の課題であった。厳冬期の八甲田山の雪中行軍には、青森から歩兵第5連隊210名が、弘前から歩兵第31連隊が参加した。青森隊は地元民の協力をすべて断り、地図とコンパス、夏用の軍靴と軽装備であった。一方、弘前隊は、きこり、マタギなど山のプロから、冬山では汗をかかないように工夫することや、足の指を油紙で巻き、唐辛子をまぶし、靴下を3枚履くことなどを情報収集し、同行を依頼した。

結果は、さまざまな要因の差はあったものの、青森隊は、生存者11名。弘前隊は、全員無事生還という大きな差が出た。

凍傷対策は、現代にも通用するものがあります。現在では、凍瘡(しもやけ)の改善のために、唐辛子とショウガを含んだ当归四逆加呉茱萸生姜湯(とうきしぎゃくかごしゅゆしょうきょうとう)を処方します。寒さに向かう折柄、ご自愛くださいませ。

平成25年 11 月分原稿

はらクリニック 原 徹